

公開講演会のご案内

申込不要・無料・誰でも参加OK

「高齢者心理学の最前線：老いへの適応とWell-being」

神戸大学教授 増本康平先生

神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授
神戸大学ウェルビーイング先端研究センター副センター長
2005年大阪大学大学院博士課程修了、博士(人間科学)
大阪大学助教、島根大学講師を経て2011年神戸大学に着任
2018年スタンフォード大学長寿センター客員研究員
著書に『老いと記憶 加齢で得るもの、失うもの』(中央公論新社
2019年啓文堂新書大賞)、『老いのこころ』(有斐閣)など



テーマ(講義内容)

高齢期は、得るものに対して失うものの割合が多くなる時期です。例えば認知機能については、年を重ねるにつれ多くの人が記憶力の低下を実感します。このような衰えを予防するために努力することは大切です。ですが、年齢による衰えは必然でもあります。そのため、老いに逆らうではなく老いを受け入れ、衰えにいかに適応するかを考えることも重要になります。本講義では、認知機能の衰えを中心に、心理学の研究が明らかにした、老いることによる損失を最小限に抑えるための方法と、生涯にわたる発達と幸福な老いを実現するヒントについてお話ししたいと思います。

日時 2023年12月21日(木) 13:30~15:00

場所 放送大学兵庫学習センター

(神戸大学社会科学系アカデミア館 7階 大講義室)

住所 神戸市灘区六甲台町2-1(神戸大学六甲台キャンパス内)

電話 078-805-0052(お問合せ先)

